

## 第75回和歌山県皮膚科医会学術講演会

特別講演

演題：ネモリズマブも活用 ～アトピー性皮膚炎と結節性痒疹診療に～

講師：近畿大学奈良病院 皮膚科 教授 大磯 直毅先生

アトピー性皮膚炎や結節性痒疹で生じるそう痒は、皮疹の増悪、睡眠障害と生活の質低下に関与する。Interleukin-31 (IL-31) は感覚神経線維と炎症との相互作用に関与し、アトピー性皮膚炎や結節性痒疹の発症と増悪に関わる。ヒト化抗ヒト IL-31 受容体 A モノクローナル抗体のネモリズマブは IL-31 シグナル伝達経路を阻害し、適正に選択された症例での皮疹の寛解、睡眠と生活の質改善につながる。